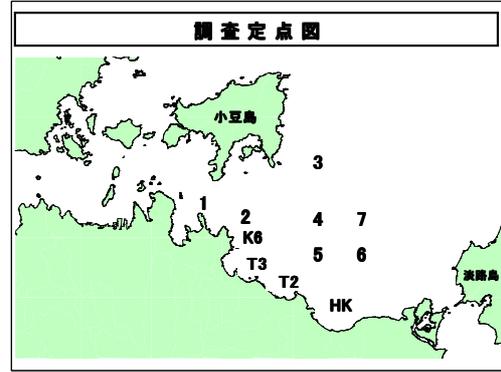


カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2012. 7- 2号)

香川県水産試験場 益井
TEL: 087-843-6511

調査日: 7月18日
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

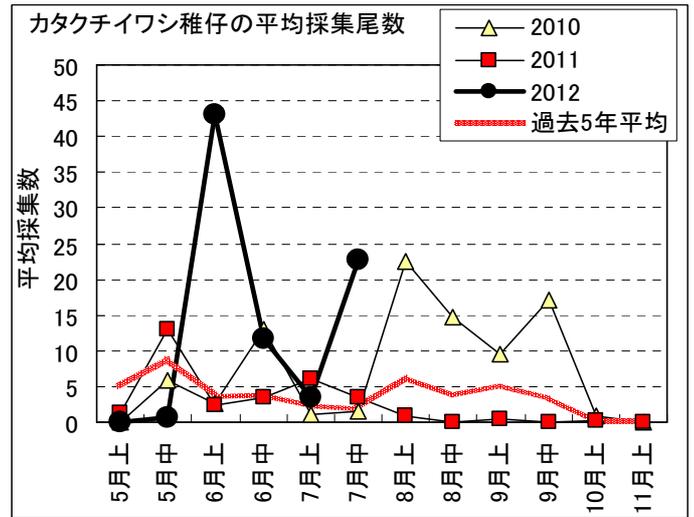
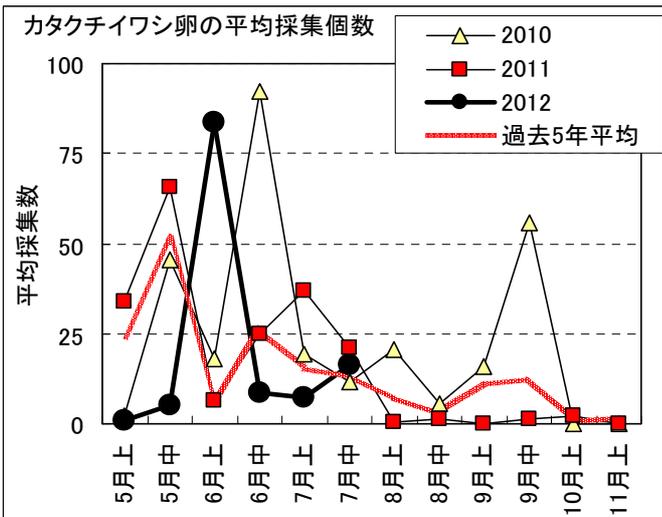


【カタクチ卵】 定点別出現数

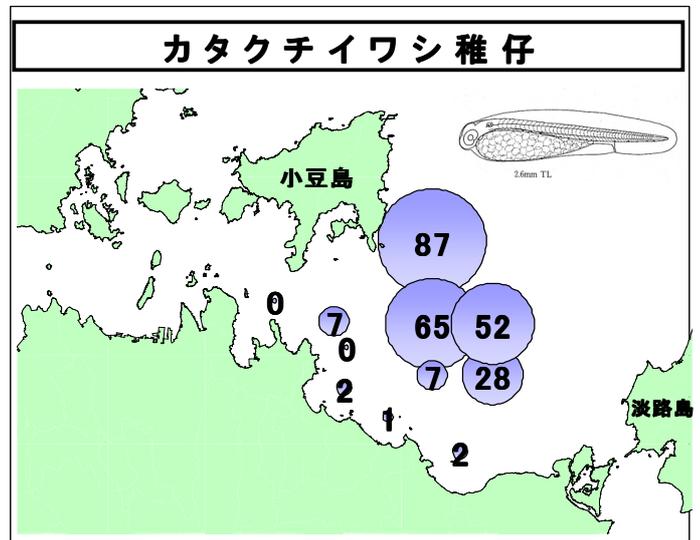
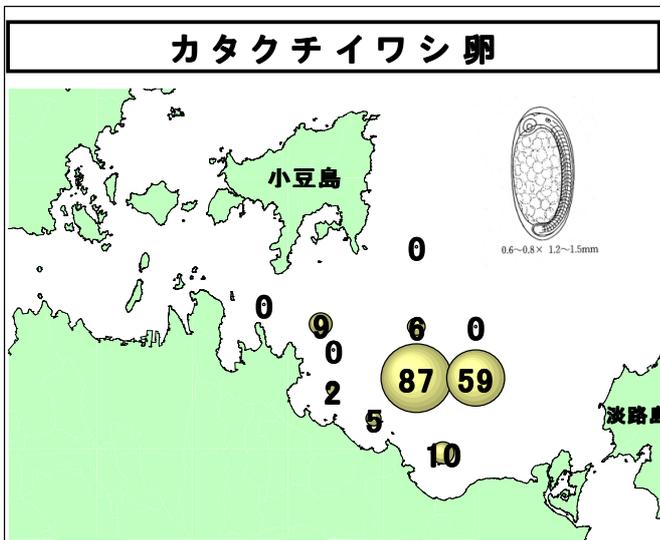
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2010.7.16	1	2	44	23	0	15	40	0	0	0	1	11.5
2011.7.15	2	40	92	54	16	2	11	1	0	0	13	21.0
2012.7.18	0	9	0	6	87	59	0	10	5	2	0	16.2

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2010.7.16	0	0	1	5	2	2	4	0	0	0	2	1.5
2011.7.15	0	4	7	9	3	3	3	6	1	0	3	3.5
2012.7.18	0	7	87	65	7	28	52	2	1	2	0	22.8



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



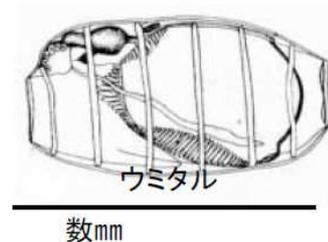
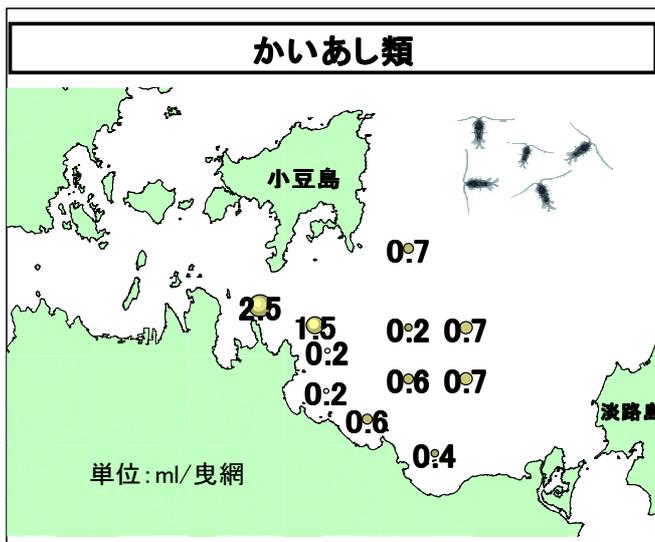
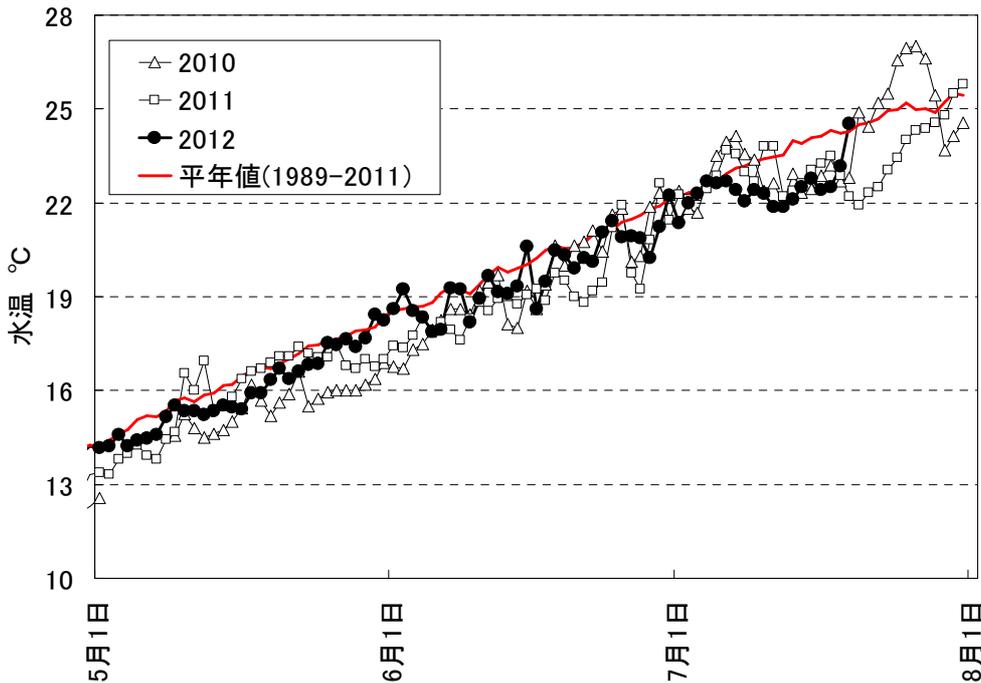
播磨灘11定点における卵の平均出現数は約16個で、昨年及び平年の同時期とほぼ同水準であった。一方、稚仔の平均出現数は約23尾で、昨年及び平年の同時期を大きく上回った。卵、稚仔ともに、沖合の調査点で局所的に出現した。

餌料生物として重要なかいあし類は、前回より増加したものの、依然低水準である。岸寄りの調査点(HK, T2)では、ミジンコ類が優占した。また、沖合の調査点(3~7)でウミタル類(寒天状のろ過摂食プランクトン)やクラゲ様の懸濁物が大量に入網した。

引田沖の水温は、7月中旬以降、平年より低めで推移していたが、梅雨明けとともに上昇傾向にある。

【参考】

引田沖水温バイデータ(午前9時, 1.5m層)



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は、8月2日に浅海定線調査に合わせて実施予定です。